

## チェックリストで分かる伸ばす側面とその手立て 検証計画の立案の場面（第5学年）

番号	伸ばす側面	チェック事項	手立て（単元計画に記載する内容）
Q1	思考の基盤	自分で観察や実験の方法を考えることができますか。	問題や予想に立ち返り、解決したり確かめたりすることができる方法になっているか、もう一度考えさせる。既習事項を振り返り、その際どのような観察、実験を行っていたか確かめさせる。
Q2	探究的思考	友達が立てた観察や実験の方法について「どうしてそう考えたのかな？」と考えていますか。	友達が立てた観察、実験方法が科学的（実証性、再現性）になっているかについて質問を行わせる。
Q3		友達が立てた観察や実験の方法について、質問したくなりますか。	
Q4	合理的思考	自分の予想を確かめるために、観察や実験の方法を考えることができますか。	結果を見通すことで予想が確かめられる観察・実験方法（実証性、再現性）になっているか確認させる。
Q5	反省的思考	自分が立てた観察や実験方法におかしなところはないか見直していますか。	「みちがえる質問集」を活用し、自分や友達の考えを見直す経験を積ませる。
Q6		友達との話合いを通して、自分が立てた観察や実験方法を見直していますか。	
Q7	目標志向的思考	問題を解決できる観察や実験方法になっているか考えていますか。	問題に立ち返った観察・実験方法（実証性、再現性）になっているか質問をさせる。
Q8	懐疑的思考	友達の考えにまちがいがないと思いますか。	話合いを通して友達の考えを見直す経験を積ませる。